

①分校下を流れる前田川で水泳をしていた。②旧海老老済分教場。閉校後に建物は近くに移築され、製茶工場として昭和の終わり頃まで利用された。③中央にクスノキが植わっていた運動場。運動会には地域住民が集まり、運動場を駆け回った。



ダムに沈む

えびすくい

旧海老老済分教場

旧五郷小学校海老老済分教場は愛媛県と徳島県の県境近く、大野原町五郷地区の谷あいにはありました。明治25年に海老老済尋常小学校として開校した後、大正3年に五郷尋常小学校の分教場となり、昭和38年に五郷ダム建設に伴い閉校しました。学校で年に一度開かれる学芸会や運動会は地域ぐるみの一大行事で、隣県から山を越えて参加する人もいたそうです。

自宅から1時間かけて分教場に通っていたという石井敏さん（昭和31年卒業）は、「学び舎がダムの底に沈んだ時は寂しい思いをしました。農閑期に五郷ダムの水を抜いた時、校舎の敷地が現れると当時を思い出します」と話します。

「分校（分教場）がミュージカルの舞台になるのは、すごく嬉しいことです。卒業生はもちろん、地域住民みんな、楽しみにしています」

ミュージカル「夢つむぎの詩」応援企画イベント
『夢の里 五郷』を開催します

五郷ダムの工事が完了した昭和39年は、初めて東京で五輪が開催された年です。そして五輪は再び東京へ。56年の時を五郷地域はどのように歩んできたのか。今は水面の奥に沈む旧海老老済分教場に当時通っていた人々と現代の小・中学生との交流や、当時使用されていた足踏みオルガンなどを活用した音楽会を通して、五郷地域の古き良き時代をしのぶとともにその魅力をお伝えします。

- 日時 2月8日(土)
午前9時30分～午前11時15分
※イベント終了後、希望者には旧海老老済分教場跡、豊稔池などの現地説明を行います。
- 場所 五郷活性化センター
- 料金 無料
※天候等により内容を変更またはイベントを中止することがあります。
- 問い合わせ先
文化振興課 ☎23-3943



特集 閉校前の山の分校が舞台
うた
ミュージカル「夢つむぎの詩」

ハイスタッフホールの開館を機に、市民参加のミュージカル活動が始まりました。第1回目は伊吹島が舞台の音楽劇「ウラが住んどる不思議の島」、第2回目は、星に愛情を注ぐ主人公のミュージカル「星の王子さん」を発表してきました。ことからは、子どもたちが中心となり舞台を作る「こどもミュージカル」に変身します。

ダム建設のために沈むことになった山の分校「海老老済分校」を舞台に、子どもたちが懐かしい日本の童謡・唱歌とともに友情を育むファンタジー・ミュージカル「夢つむぎの詩」です。引き続き舞台俳優の浜畑賢吉さんが演出を担当するほか、脚本の壤晴彦さん、音楽監督の北川潤さんなど、劇団四季で活躍された人たちが制作の中心となり、地元のスタッフ・キャストとともに本格的なミュージカルを作りあげます。



昨年発足した観音寺こどもミュージカル劇団「トテ・トン」。ちょうさが走る時の太鼓のリズム「トテントンテトン」が名前の由来です。出演者は、小学1年生から中学2年生まで35人、29歳から64歳までの大人が11人。裏方として、観音寺総合高校の学生を含め10人。総勢56人が参加します。



ミュージカル「夢つむぎの詩」

日時 3月15日(日)午後2時～
場所 ハイスタッフホール 大ホール
料金 一般(前売り) 1,800円
(当日) 2,000円
高校生以下(前売り・当日) 800円
※全席自由

あらすじ
あと1年で閉校となる海老老済分校を舞台に、都会から転校してきた少女と子どもたちの交流を描きます。